

毎月会合開き10周年

多彩な同窓生互いに講師に

(坂山真里緒)

合を開いている。「毎月開催する同窓会が10年も続く例は、他にはないはず」とメンバーは胸を張る。

星陵高校（垂水区）第6期生の親睦会「星六会」が今年、結成10周年を迎えた。教養や趣味を身に付けながら交流を深める集まりで、毎月第2土曜に同区内で会

星陵高6期生の親睦会「星六会」

垂水区

会は2004年1月に発足した。中国で貿易会社を運営していた岡本正幸さん(78)は垂水区が、中国語を教えたのが始まり。以降、医師や大学教授ら多彩な経歴の同窓生が講師となり、知識や技術を伝えている。川柳、写真、体操、健康講座などのほか、年2回はハイキングなどの野外活動も行ってきた。

結成11年目最初の講座を予定していた今年2月は、雪の影響で講師の青木信さん(78)は篠山市が出席できず、初の「休講」に。3月の会では、青木さんが短歌、浜崎実さん(78)は垂水区が俳句を指導した。

10年の成果は着実に現れているようで、参加者同士で「うまくいったなあ」と感心し合う声もあ

語学や川柳学び「80歳まで続けたい」

結成当初は50人いた参
707・3607
定。岡本さん8078・

加者も今は20人ほどだが、「まさか10年続くとは」と岡本さん。幹事の一人、崖知常さん(78)は東灘区は「少なくとも80歳までは元気に続けたい」と話す。

次回は4月12日開催予



「星六会」の会合。参加者は講師役の仲間の話に真剣に耳を傾ける。垂水区勤労市民センター